

実践事例

学年	1年	
教科名	国語科	
単元名	じどう車くらべ	
指導計画 (全11時間)	1	知っている自動車について話し合う。本文を読み、学習のめあてをもつ。
	2	文の構成を見つける。自動車図鑑を作る見通しをもつ。
	3～5	それぞれの自動車の「しごと」と「つくり」を比べながら読む。
	6・7	はしご車の「しごと」と「つくり」を考え、説明文を書く。
	8～10	自分で選んだ自動車について、「しごと」と「つくり」を考え、説明文を書く。
	11	友だちと読み合い、感想を伝え合う。
本時の目標	自動車の「しごと」や「つくり」について見ていくことを知る。	
防災の視点(※)	(B)災害時に活躍する自動車の仕事やつくりを取り上げる。	

本時の展開(1/11)

学習内容・活動	指導上の留意点	教材・資料
1. 写真を見て、知っていることや気づいたことなどを発表する。	○「しごと」や「つくり」だけでなく、知っていることや気づいたことなどを自由に発表させる。 ※災害時に活躍する車について取り上げる。	●災害時に活躍する車などの写真
2. 本文を読む。	○自動車の「しごと」と「つくり」について書かれていることに気づかせる。	
3. 学習計画を立てる。	○最後には、自分で選んだ車の説明文を書くことを知らせる。	

実践事例

学年	1年	
教科名	算数科	
単元名	なんばんめ	
指導計画 (全2時間)	1	前後に関わる順序を数を使って表す。
	2	上下、左右に関わる順序を数を使って表す。
本時の目標	数は順序や位置を表す際にも用いられることを知り、前後に関わる順序の表し方を理解する。	
防災の視点(※)	(B) 救援物資を受け取る時の場面を取り上げる。	

本時の展開(1/2)

学習内容・活動	指導上の留意点	教材・資料
<p>1. 学習課題をつかむ。</p> <p>2. かけっこの順位を数を用いて表す。</p> <p>3. 綱引きの絵を見て、前後に関わる順序を数で表す。</p> <p>4. 集合数と順序数の違いを意識しながら、イラストに色を塗る。</p> <p>5. 順序や位置を用いて表す練習をする。</p>	<p>○～番、～位、～着は、同じ意味であることにふれる。</p> <p>○「前」と「後ろ」について確認する。</p> <p>○「前から3人目」の「目」に赤丸をつけるなど強調し、順序数と集合数の違いを理解させる。</p> <p>○一列に並んだり、座席の順番を利用したりして、「前から○番目」「後ろから○番目」の言い表し方を練習する。 ※救援物資を受け取る場面を取り上げ、「前から○番目の人までもらえますか。」と問うなどして、練習をする。</p>	<p>●人が並んでいる絵 (自作)</p>

実践事例

学年	1年	
教科名	算数科	
単元名	どちらがひろい	
指導計画 (全1時間)	1	直接比較やますの数で身の回りにあるものの面積を比べる。
本時の目標	身の回りにあるものの面積に関心を持ち、直接比較やますの数で比べることができる。	
防災の視点(※)	(B)面積を比べるを通して、避難所の広さに関心をもつことができる。	

本時の展開(1/1)

学習内容・活動	指導上の留意点	教材・資料
1. 学習のめあてを確認する。	<p>※避難所の居住空間の広さを取り上げ、広さを比べることに関心をもたせる。</p> <p>○写真を見て、気づいたことなどを自由に発表させる。</p> <p>○学習のめあてを確認し、写真を見ただけでは、広さ比べができないことに気づかせる。</p>	●避難所の写真
2. 面積の比べ方を考える。 ・直接比較 ・任意単位による比較	○長さや体積の学習を想起させ、直接比較や任意単位を用いた比較方法について考えさせる。	
3. 学習を深める。	<p>○陣取りゲームで広さの学習に興味をもたせる。</p> <p>○陣取りゲームの結果を知らせる際、どちらがどれだけ広いかを明確に発表させる。</p>	
4. 本時のまとめをする。		

実践事例

学年	1年	
教科名	生活科	
単元名	がっこうとともだち	
指導計画 (全11時間)	1~4	学校探検に行こう。
	5・6	校庭も探検してみよう。
	7・8	探検したことをみんなで話そう。
	9~11	学校の周りを歩いてみよう。
本時の目標	部屋にあるものを興味をもって探すとともに、部屋にあるものや部屋の目的について考えることができる。	
防災の視点(※)	(B)学校探検で備蓄庫、消火栓、AED、非常扉など防災に関する設備について関心を持たせる。	

本時の展開(4/11)

学習内容・活動	指導上の留意点	教材・資料
<p>1. 学習課題をつかむ。</p> <p>2. 秘密の部屋に探検に行き、見つけたものをメモする。</p> <p>3. まとめをする。</p>	<p>○部屋の名前を告げずに探検に行き、見つけた物などを手がかりに、何のための部屋かを考えさせる。</p> <p>○見つけたものを絵や文字でワークシートにまとめさせる。</p> <p>○見つけたものが、どのように使われるのかなどを自分なりに考えさせる。</p> <p>※備蓄庫に探検に行き、何のための部屋かを考えさせる。</p> <p>※備蓄庫で見つけたものは、何のためにあるのかを考えさせる。</p> <p>見つけた物をみんなで交流し、何のための部屋かを伝える。</p>	<p>●校舎配置図</p>

実践事例

学年	1年	
教科名	生活科	
単元名	さあみんなででかけよう	
指導計画 (全8時間)	1	さあ みんなででかけよう
	2~5	みんなの あそびばで たのしもう
	6~8	たのしかったことを つたえよう
本時の目標	安全に気をつけて遊び場に出かけ、友だちと遊びながら、人や自然と楽しくふれあうことができる。	
防災の視点(※)	(B)公園探検に行く途中で津波に関する表をみることにより防災について意識させる。	

本時の展開 (2・3/8)

学習内容・活動	指導上の留意点	教材・資料
<p>1. 学習課題をつかむ。</p> <p>2. 安全に気をつけて、遊び場へ向かう。</p> <p>3. 遊び場で楽しく遊んだり、探検したりする。</p> <p>4. 次回の計画を立てる。</p>	<p>※公園に行く途中にある標識などに注目させる。</p> <p>※学校にある海拔の高さの表と比較させる。</p> <p>○自然環境や遊び場の特徴を活かした遊びができるように声かけをする。</p> <p>○今回の探検で見つけたことや楽しかったことをふり返ったあと、もう一度遊び場へ行く計画を立てるようにする。</p>	<p>●町たんけん図</p>

実践事例

学年	1年	
教科名	図画工作科	
単元名	いろいろな はこから	
指導計画 (全2時間)	1・2	箱を並べたり積んだりしながら、活動を楽しむ。(2時間扱い)
本時の目標	箱を積んだり並べたりする活動を通して、箱の特徴などに気づき、自分なりのイメージを広げながら取り組むことができる。	
防災の視点(※)	(B)避難所生活の中で、箱を並べて生活スペースを区切っていることを知る。	

本時の展開(1・2 / 2)

学習内容・活動	指導上の留意点	教材・資料
<p>1. 学習のめあてを知る。</p> <p>2. 並べたり積み上げたりする活動をする。</p> <p>3. 学習のまとめをする。</p>	<p>○使いたい材料を自由に選び、思い思いに並べたり積んだりしていいことを知らせる。</p> <p>○使わない箱は、元の場所に戻すなど、ルールを確認する。</p> <p>○並べ方や積み方で工夫されているものがあれば、他の児童にも広めていく。</p> <p>○工夫したことや楽しかったことを振り返り、発表させる。</p> <p>○着目の仕方や考え方の工夫次第で、イメージできるものが多様にあることを確認する。</p> <p>※避難所生活の中で、ダンボールで区切りをして、生活スペースを確保していることについてふれる。</p>	<p>●いろいろな大きさの箱</p>

実践事例

学年	1年	
教科名	生活科	
単元名	ひろがれ えがお	
指導計画 (全9時間)	1・2	いえの人のえがおを見つけよう
	3～6	どんなことができるかな～いえのしごとで できることをかんがえよう～
	7	どんなことができるかな～じしんやつなみにそなえ できることをかんがえよう～
	8・9	うれしかったことをつたえよう
本時の目標	家族で支え合いながら生活するため、家族のことや自分のできることなどについて考える。	
防災の視点(※)	(B)地震や津波に備え、自分が家族のためにできることを考えさせることにより、防災に対する心構えをもたせる。	

本時の展開(7/9)

学習内容・活動	指導上の留意点	教材・資料
1. 本時のめあてを知る。	○今まで家族のために取り組んできたことをふり返る。その上で、今日は、地震や津波に備え、家族のために、自分たちができることについて考えることを知らせる。	
2. 自分たちができることについて、班で意見を出し合う。	※ 今までの防災学習なども思い出しながら考えるよう声かけをする。 ○「～について知らせる」「～を話し合う」「～と一緒に準備する」など、家族のためにできることを、できるだけたくさん考えさせるため、班活動にする。	
3. 班で出た意見を全体に発表する。	○自分たちの意見と違うところや同じところを意識しながら聞くようにさせる。 ※紙芝居「 じしんなんかにまけないぞ! 」の読み聞かせを行い、地震に備えて、自分たちにもできそうなことが他にないか考えながら聞くようにさせる。 ○出た意見を板書し、後で、選ぶことができるようにしておく。	●紙芝居 「 じしんなんかにまけないぞ! 」 (教育画像)
4. 自分が家族のためにできることを選び、ワークシートに書く。	○みんなから出た意見を参考にし、家族のために自分がしようと思うことを選んで、ワークシートに書くようにする。 ※「 家が海に近いところにあるから 」など、それぞれの 家庭の事情 なども踏まえて考えられるように声かけをする。 ○なぜ家族のためにそれをしようと思うかなど、家族への思いも書くようにさせる。	
5. 本時のふり返しをする。	○家族のことを考えながら、自分にできることを一生懸命考えることができたかについて◎○△でふり返らせる。 ○今日決めたことについて、必ず家で取り組むことを伝え、次時につなげるようにする。	

実践事例

学年	1年	
教科名	体育科	
単元名	水あそび	
指導計画 (全12時間)	1	学習の流れやプールのきまりを知る。
	2～5	水に慣れる遊びをする。
	6～9	潜ったり、浮いたりして、水慣れをする。
	10・11	伏し浮きやけのびに挑戦する。
	12	着衣水泳をする。
本時の目標	水着と着衣の違いに気づくと共に、水害から命を守る方法を知る。	
防災の視点(※)	(B)水害から命を守る方法を知る。	

本時の展開(12/12)

学習内容・活動	指導上の留意点	教材・資料
1. 準備運動をする。	○バディの確認をする。	
2. 水着と着衣の違いを感じる。	○まず水着で入水した後、服を着て入水させ、動きにくくなることを実感させる。	
3. 浮く練習をする。	○ペットボトルなどを使い、力を抜いて仰向けに浮く練習をさせる。 ○恐怖心がある児童は、背中を支えるなど補助に入り、浮く体験をさせる。 ※ペットボトルなどを使い、楽な姿勢で浮く練習をするなどして、水害から命を守る方法を知る。	●ペットボトル ●発泡スチロール
4. 本時のまとめをする。	○大声で助けを求めること、力を抜いて楽な姿勢で助けを待つことなどを知らせる。	